

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【公開番号】特開2018-15469(P2018-15469A)

【公開日】平成30年2月1日(2018.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2018-004

【出願番号】特願2016-150748(P2016-150748)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/42 (2006.01)

A 6 1 F 13/532 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/534 (2006.01)

A 6 1 F 13/535 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/42 B

A 6 1 F 13/532 2 0 0

A 6 1 F 13/53 1 0 0

A 6 1 F 13/534 2 0 0

A 6 1 F 13/535 2 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月16日(2018.11.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前後方向と、

前記前後方向と直交する幅方向と、

吸収材料を含む吸収コア及び前記吸収コアを覆うコアラップを有する吸収体と、

前記吸収体の非肌対向面側に位置するインジケータと、を備える吸収性物品であって、

前記吸収コアは、高目付部と、前記高目付部よりも低い目付の吸収材料を有する低目付部と、を有しており、

前記高目付部は、前記前後方向及び前記幅方向の一方である第 1 方向に延び、

前記インジケータは、前記第 1 方向と直交する第 2 方向において前記高目付部に隣接する前記低目付部の非肌対向面側に設けられている、吸収性物品。

【請求項 2】

前記インジケータと前記低目付部は、前記第 2 方向において前記高目付部の間に設けられている、請求項 1 に記載の吸収性物品。

【請求項 3】

前記第 1 方向は、前記前後方向であり、

前記第 2 方向は、前記幅方向である、請求項 1 又は請求項 2 に記載の吸収性物品。

【請求項 4】

前記高目付部は、前記吸収コアの前記前後方向の全域に亘って連続して設けられており、

、

前記前後方向において、前記インジケータの外端縁は、前記高目付部の外端縁よりも内側に位置する、請求項 3 に記載の吸収性物品。

【請求項 5】

前記高目付部は、前記吸収コアの外側縁よりも前記幅方向の内側に位置する、請求項 3 又は請求項 4 に記載の吸収性物品。

【請求項 6】

前記吸収体は、

前記前後方向に延びる 一对の第 1 折り線の間に位置し、前記吸収体の前記幅方向の中央を含む第 1 領域と、

前記第 1 折り線より幅方向内側に位置する第 2 折り線と前記第 1 折り線との間に位置し、前記第 1 領域の肌対向面側にそれぞれ配置される一对の第 2 領域と、

前記第 2 折り線よりも前記幅方向の外側に位置し、前記第 2 領域の肌対向面側にそれぞれ配置される一对の第 3 領域と、を有し、

前記高目付部は、前記第 1 領域、前記第 2 領域及び前記第 3 領域が重なった重畳部によって構成され、

前記低目付部は、前記重畳部以外の部分によって構成される、請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の吸収性物品。

【請求項 7】

前記コアラップは、セルロース繊維を含むティッシュによって構成されており、

前記重畳部において、前記第 1 領域の肌対向面側のコアラップと前記第 2 領域の非肌対向面側のコアラップとは、当接している、請求項 6 に記載の吸収性物品。

【請求項 8】

前記吸収体は、吸収材料としてのパルプを有し、

前記第 2 領域のパルプの目付は、前記第 1 領域のパルプの目付及び前記第 3 領域のパルプの目付よりも低く、

前記重畳部において、前記第 2 領域のコアラップ同士が当接し、かつ前記第 2 領域の肌対向面側のコアラップと前記第 3 領域の非肌対向面側のコアラップとが当接している、請求項 7 に記載の吸収性物品。

【請求項 9】

前記重畳部において、前記第 2 領域の肌対向面と前記第 3 領域の非肌対向面とは、接合されていない、請求項 6 から請求項 8 のいずれかに記載の吸収性物品。